

あいさつについて

かなり前のことですが、ある郊外の中学校を訪ねたときのことでした。放課後だったので校門近くで下校途中の多くの生徒に会いました。

「さようなら。」という挨拶をしてくれる生徒がほとんどでした。

しばらく歩いて校門に入ろうとしたとき、男子生徒二人が後ろから駆けてきました。私の前まで来るときちんと礼をしてから、

「さようなら。」と一言いうとまた反対方向へ戻っていきました。その時、なぜ走ってきたのがわかりました。私は気がつきませんでした。二人は私とすれ違ったとき話に夢中になっていて、私に挨拶するのを忘れていたのです。通り過ぎた後で、そのこと

に気づき、挨拶をするためにわざわざ戻ってきてくれたのです。

また、こんな経験も最近しました。別の中学校を訪ねたとき、ちょうど昼休みだったので、どの生徒も、

「こんにちは。」と元気よく挨拶をしてくれました。その中学校の先生にうかがうと、朝、帰りだけでなく、いつ会っても誰にでも挨拶をする良い習慣ができているとのことでした。

現代社会の問題となつてい『社会的無関心』『超個人主義(決して良い意味ではなく、むしろ利己主義に限りなく近い)』などという言葉とは無縁の彼らの態度に心が温かくなりました。先の先生の話によれば、彼らの挨拶の習慣は、来校者だけでなく、自分の学校

の先生に対しても同じように、朝・昼・帰り、時間に関係なく、会う度に挨拶してくれるのだということでした。地域の中で、大人と子供がどこでも挨拶をしよう、おそらく、数十年前までは、日本のあちこちで見られた、そんな良い習慣がまだ生き残っている地域なんだなと思えました。

朝、通学路や校門で、昇降口や階段・廊下で、そして教室で、登校するみなさんに「おはよう。」

と声をかけています。多くの人が、自分から進んで、または、私より先に挨拶してくれます。三中に来校されたお客様や、新しく転勤してきた職員が感じ、三中生の最も素敵な部分です。でも、ときどき、素っ気なくあさつての方を向いて挨拶する人、何もいわないで通り過ぎていってしまう人もいるように

来週の予定:5月3日(月)~7日(金)

ゴールデンウィーク中は、原則校内立ち入り禁止、部活動中止となります。本日も、必要なものの持ち帰りを忘れないように。また、「うわア～」と思う人がいるかもしれませんが、ゴールデンウィークを終え、中間考査二週間前です。計画的に勉強に取り組みましょう。

日	曜	行 事
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	普通時程 時間割通り 生徒総会 リハーサル
7	金	普通時程 時間割通り 5校時総合 6校時生徒総会

感じます。心の中では、「おはようございませう。」

といっているのです。うが、挨拶は声に、あるいは態度に出して初めて『心』が伝わるものです。現在、中学生に限らず大人の人でも挨拶のきちんとできない人を多く見かけます。国際化社会の中で、この『コミュニケーション拒否症候群』とでもいえるような様子を、何も進んで見習う必要は全くありません。昔から日本人は、物

事の始まりをとて大事にしました。一日の始まりである朝は、大切なものです。そして、朝は挨拶から始まります。良いスタートを切るためにも挨拶は欠かせません。そして、挨拶は自分のためにするものです。一日がスタートできる喜びを、